



KYOEI STEEL

第79期
株主通信

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

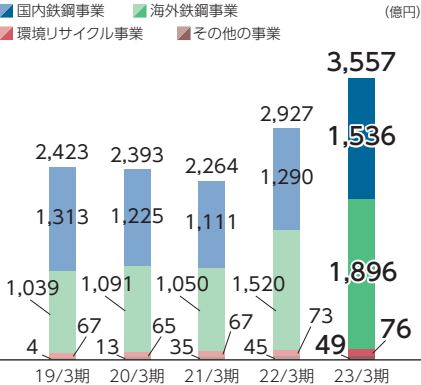
証券コード: 5440

❖ 共英製鋼株式会社

売上高

3,557 億円

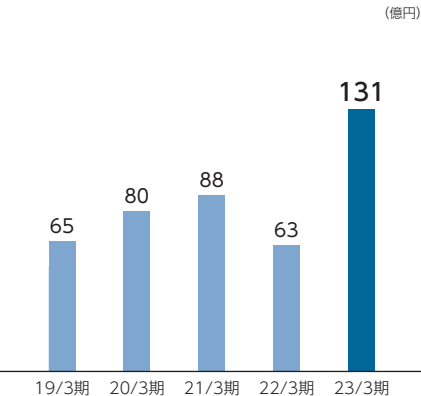
前期対比 21.5% 増 ▲



親会社株主に帰属する当期純利益

131 億円

前期対比 107.3% 増 ▲

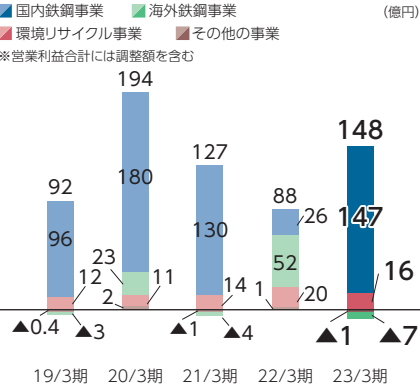


※1 21/3期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、20/3期の関連する数値にはこれに伴う見直しが反映されています。
※2 22/3期より、「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

営業利益

148 億円

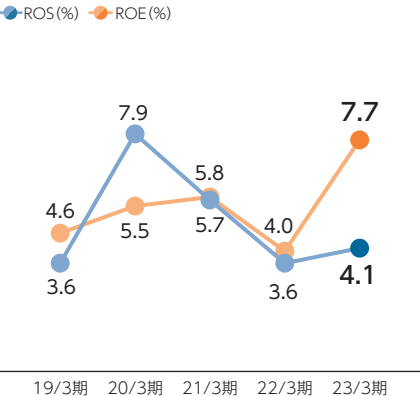
前期対比 68.0% 増 ▲



売上高経常利益率 (ROS)
株主資本利益率 (ROE)

ROS 前期対比 0.5Pt 増 ▲

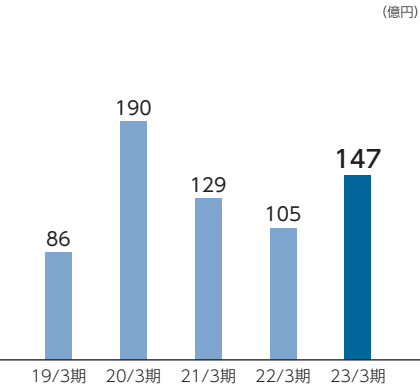
ROE 前期対比 3.7Pt 増 ▲



経常利益

147 億円

前期対比 39.1% 増 ▲

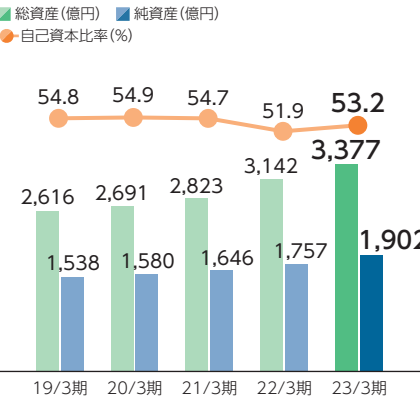


総資産／純資産／自己資本比率

総資産 前期対比 7.5% 増 ▲

純資産 前期対比 8.2% 増 ▲

自己資本比率 前期対比 1.3Pt 増 ▲



トップインタビュー



TOP INTERVIEW

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。第79期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の業績につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 廣富 靖以

— 第79期(2023年3月期)の業績について

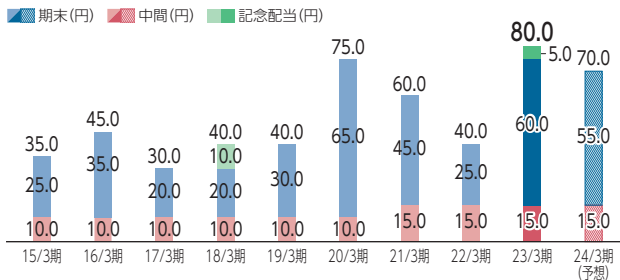
前期対比増収増益、国内鉄鋼事業が大幅増益、海外鉄鋼事業はベトナムが苦戦

国内鉄鋼事業は、建設需要が低調な中、鉄スクラップ価格や製造コストが上昇しましたが、製品価格の引き上げを進めたことにより、利益の源泉となる売買価格差（製品価格と原材料価格との差額）が拡大し、前期対比大幅増益となりました。海外鉄鋼事業については、北米は景気に減速

感が見られる中でも旺盛な建設需要の下、前期に続き堅調な業績となりましたが、ベトナムは競合環境の激化が続く中、下期(7月)以降、政府の不動産業向け貸出規制の強化により建設需要が大きく落ち込んだことから大幅な減益となり、全体で赤字となりました。環境リサイクル事業は、新型コロナウイルス関連の処理案件を引き続き獲得したものの、燃料価格などコストの上昇により、前期に比べ減益となりました。

当期の配当および次期の配当予想について

当期の配当につきましては、期末配当を65円（うち5円は創立75周年記念配当）とし、既の実施した中間配当15円と合わせて80円とさせていただきます。次期の配当につきましては、中間配当を15円、期末配当を55円とし、年間で70円を予想しています。



―― 次期の業績予想について

厳しい事業環境ながら営業・経常増益へ

国内鉄鋼事業については、鉄鋼需要の増加が見込まれますが、鉄スクラップ価格が高止まりする中、電力費など製造コストの上昇は必至と予想しています。引き続き、製造コストの削減、製品価格引き上げにより、利益の拡大を図ります。

海外鉄鋼事業については、ベトナムでは、当局の規制緩和など明るい兆しはあるものの、足元の建設需要は低調であり、回復は下期以降になる見通しです。南北いずれの拠点でも、短期的な市況変動に左右されないよう低在庫操業を徹底し、原料購買や生産工程の見直しによるコスト削減、新規販売ルートの開拓などで収益改善を図ります。北米では、当社グループの事業エリアは経済成長や人口増を背景としたインフラ投資の進展により鉄鋼需要は堅調です。当期に続き、好業績となる見通しです。

環境リサイクル事業については、事業環境は良好ですが、新型コロナウイルス関連案件の減少に加え処理コストのさらなる増加も予想されることから、減益を見込んでいます。世界経済の先行きに不透明感がありますが、国内で当期並みの業績を維持し、海外はベトナム事業の回復で利益

を確保していきます。

以上により、2024年3月期の業績予想については、連結売上高3,525億円、連結営業利益200億円、連結経常利益180億円、親会社株主に帰属する当期純利益は120億円を予想しています。

―― 中期経営計画「NeXuS 2023」の取り組み

連結業績目標はクリアも、収益構造に課題

中期経営計画「NeXuS 2023」の2年目であった当期は、連結全体としては、売上高は既に中期経営計画最終年度目標をクリアし、利益も目標達成に向けて順調に推移しています。ただ、1年目は海外が国内を、2年目は国内が海外をカバーする形で利益を計上しており、利益の偏りが見られます。当社グループが進める「世界3極体制」は一定程度機能しているといえますが、安定的な収益構造の確立が課題と考えています。

中期経営計画では「国内外の年間製品出荷量400万吨体制の構築」を目標に掲げていますが、ベトナム北部とカナダにおける生産能力増強投資については、ベトナムは事業環境の悪化、カナダはインフレによるコスト上昇のため一部計画の見直しを行っていることから、実施時期が遅れる見通しです。

国内鉄鋼事業においては、4年越しで進めてきた営業業務改革プロジェクトの中核である「テツクル」が昨年10月に本格稼働を開始しました（P7をご参照ください）。環境リサイクル事業は、昨年10月の山口事業所の火災事故による産業廃棄物の受け入れ停止などもありましたが、お客様や各方面への迅速な対応によって影響を最小限にとどめ、一定の利益を上げることができました。

「NeXuS 2023」のテーマである「つなぐ力」の強化につ

いても、様々な取り組みが進んでいます。先に述べた山口事業所の火災事故の際も、国内外の拠点から速やかに製品や半製品を供給するなど、成果が見えてきています。

―― 次期中期経営計画策定に向けて

世界3極体制の盤石化に注力

2021年に「NeXuS 2023」がスタートしてからも、我々を取り巻く事業環境は大きく変化しています。

そうした中で事業を継続し、さらに中長期的に成長していくため、事業面では「世界3極体制」の盤石化が何より重要と考えています。まずはベトナム事業の立て直しに向け、課題を一つ一つ解決してまいります。事業環境は当面厳しいと思われませんが、収益力を高め、ベトナムの成長とともに当社グループの飛躍を目指します。

また、環境リサイクル事業の収益機会の拡大も重要な

テーマです。処理困難物の適正処理のみならず、マテリアリサイクルに向けた研究にも取り組んでまいります。

そうした事業面での戦略を支えていくためにも、人的資本への投資は重要です。この中期経営計画では、「見えざる資産」への投資として、処遇の改善や事務所・厚生棟の建て替え、教育研修体制の整備などを進めています。従業員が働きやすく、成長を感じられるよう、経営の役割として職場環境を整えていきたいと考えています。

鉄資源のリサイクルを中核とした資源循環型事業を通じて、社会の発展と地球環境との調和に貢献する「エッセンシャル・カンパニー」の実現に向け、グループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

中期経営計画「NeXuS 2023」の進捗状況

	2021年度	2022年度		2023年度	
	実績	期初予想	実績	中期経営計画	予想
売上高	2,927億円	3,800億円	3,557億円	2,900億円	3,525億円
経常利益	105億円	110億円	147億円	180億円	180億円
出荷量	332万ト	365万ト	328万ト	400万ト	346万ト
（国内）	158万ト	160万ト	154万ト	170万ト	165万ト
（海外）	174万ト	205万ト	174万ト	230万ト	181万ト
ROS	3.6%	2.9%	4.1%	6%以上	5.1%
ROE	4.0%	3.9%	7.7%	7%以上	6.7%
配当性向	27.5%	30.1%	26.5%	30%程度	25.4%
設備投資・事業投資	130億円	330億円*	93億円	-	141億円
計画：600億円／3ヶ年					

※2022年度期初予想の設備投資額は決裁ベース
KYOEI STEEL



もっと知りたい 共英製鋼

Vol.08

環境リサイクル事業編

皆様は当社グループの環境リサイクル事業について、どんな印象をお持ちでしょうか。ただ単に廃棄物を電気炉に投入して処理…といった単純作業だと思われるかもしれませんが。実際には、法律で定められた細かいルールがあり、営業部門、製造部門が連携し、現場の安全と製品の品質に配慮し、細心の注意を払いながら処理を行っているのです。今回の特集では、産業廃棄物が処理されるまでにどのような過程があるのかをダイジェスト版でご紹介します！

01 問い合わせ対応

全国から、月に2,500件ほど廃棄物処理についての相談を受けます。本社環境リサイクル部が窓口となり企業や官公庁、医療機関まで幅広く対応します。

本社環境
リサイクル部
永田次長

廃棄物の性状、形状や組成情報は一番大事な確認事項です。各事業所がスムーズに受け入れできるように調整することを心掛けています。

02 見積提示・契約締結

廃棄物のデータやサンプルをもとに見積りを行います。廃棄物の受け入れ条件や処理方法について説明し、お客様から理解と同意をいただき、契約を結びます。



お客様にmanifestを発行していただき、廃棄物が搬出されます。

03 廃棄物の受け入れ

廃棄物受け入れ時は、manifestの内容を確認しながら、過積載・放射線量の有無、廃棄物の検品、処理期限などのナンバリングなどを行います。後工程に危険が及ぶ廃棄物は、お客様に返品します。



山口事業所 メスキュード課
正村作業長

検品は、安全作業する上で一番重要な作業です。特に密閉物、液体物、非鉄金属の混入がないか目を光らせています。

豆知識

manifestとは？

正式には「産業廃棄物管理票」と言います。産業廃棄物の搬出から処理の完了までを管理するために、排出者による発行が義務付けられています。

06-A 電気炉で処理

溶鋼の成分異常や炉内爆発など操業に影響が出ないように十分に配慮しながら、廃棄物の処理を進めます。



06-B ガス化炉で処理

自動車破砕物や可燃物を中心に、水分を含む医療廃棄物や廃石綿などはガス化炉で処理します。生成された可燃ガスは圧延加熱炉で有効活用します。



05 廃棄物の処理準備

鉄鋼製品等に影響を与えないよう廃棄物の性状ごとに配合調整を行います。もしトラブルが発生しても、スムーズに確認・対応できるよう、製鋼部門にこれから処理する廃棄物の情報を共有します。

04 廃棄物の前処理

受け入れた廃棄物の中には、性状や形状により前処理を行うものもあります。大きいものは解体・破砕、場合によっては、容器の詰め替えやラッピングを行います。保管している廃棄物の処理期限は、厳重に管理します。



医療廃棄物が
入ったドラム缶

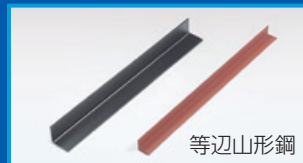
産業廃棄物

07 製品完成

廃棄物に含まれる鉄分は鉄鋼製品の原材料となり、それ以外の成分はスラグや溶融メタルに分離されます。スラグは路盤材などに再利用し、溶融メタルは非鉄原料として外部へ販売します。



異形棒鋼



等辺山形鋼

鉄鋼製品



スラグ



溶融メタル

08 事務処理・請求

処理が終わるとmanifestに必要事項を記入し、お客様へ返送します。同時に処理費用の請求を行います。また、廃棄物は処理の記録を自治体に報告する必要があるため、その集計作業や報告書作成なども行います。



Business topics

4年の歳月を経て、業務効率化、利便性向上を実現するWEB発注システム「テツクル」がオープン！

2022年10月に、4年越しで進めてきた営業業務改革プロジェクトの取り組みの一つ、WEB発注システム「テツクル」が、本格稼働しました。これにより、お客様からの発注が電子化され、リアルタイムでの情報照会などが可能になりました。



従来 FAX・メールでいただいたお客様からの注文を都度、手作業で入力



導入後 インターネットがあればいつでもどこでも発注できる窓口ができ、利便性が向上



プロジェクトオーナー
取締役・常務執行役員

川井 健司

当プロジェクトの目的は、単に営業システムを統一するだけでなく、「営業業務の改革」を行うことです。システムだけではなく会社も変える意識で、現行業務の洗い出しから始め、幾度もの困難を乗り越え、ようやく全所統一基盤システムが実現しました。もちろんシステムを立ち上げて終わりではありません。引き続き、現場とトップ、そして事業所間が連携し合いながら営業力強化を目指していきます。



営業担当
山口事業所 営業部

山田 課員

私は関西地区で形鋼・丸鋼・平鋼などの販売を担当しています。新システム導入前は、お客様からFAX・メールで受信する伝票書類を旧システムに手入力する必要がありました。導入後は、システムからの伝送となりヒューマンエラーのリスクが最小化されました。また、製品を受け渡す際に従来紙で行っていた業務が電子化され、ペーパーレス化も進みました。

ESG topics

CDP気候変動分野調査で「A-」評価を取得しました

2022年12月に、CDP気候変動分野調査において、当社は上から二番目の「A-（リーダーシップレベル）」の評価を取得しました。鉄鋼メーカーの前例がほとんどない中で、気候変動が事業活動にもたらす「リスク」および「機会」の財務的影響を算定し、開示するなどの取り組みが評価され、このような高い評価を受けることができたものと認識しています。次回の調査でも同様の評価が得られるよう、改善点を整理し、取り組みを進めていきます。

CDPとは？

世界の企業や都市に対して、気候変動対応の戦略や温室効果ガス排出量削減の取り組みなどを評価する世界最大級の評価機関です。世界では約18,700社、日本では約1,800社（東証プライム上場企業全社含む）が調査対象となり、「A」から「D-」までの8段階で評価されます。



プロサッカークラブ「レノファ山口FC」とオフィシャルプレミアムパートナー契約を締結

当社は、山口県を本拠地とするプロサッカークラブ「レノファ山口FC」を運営する株式会社レノファ山口と、2023年度シーズンのオフィシャルプレミアムパートナー契約を締結しました。レノファ山口FCのクラブミッション「心をつなぎ、感動を届ける」、クラブビジョン「地域とともに、新たな価値を創る」に賛同し、J1を目指す同クラブ、特に、18歳以下の育成組織（アカデミー）の皆様のチャレンジをサポートしていきます。



レノファ山口FCのマスコットキャラクター「レノ丸」と山口事業所の社員

2022年度に実施した寄付内容のご報告

2022年度において、当社グループは、毎年実施しているメスキュード医療安全基金、地域社会貢献基金などに加え、医療事業への支援や産学連携関連、トルコ・シリア地震救援金など、総額約28百万円（2022年度単体純利益0.4%）の寄付を実施しました。



メスキュード医療安全基金 贈呈式の様子
写真提供：産業新聞社

連結貸借対照表(要旨)

科 目	前 期 末	当 期 末
	2022年3月31日現在	2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	194,020	210,591
固定資産	120,183	127,123
有形固定資産	99,201	102,194
無形固定資産	4,167	3,993
投資その他の資産	16,816	20,936
資産合計	314,203	337,713

連結損益計算書(要旨)

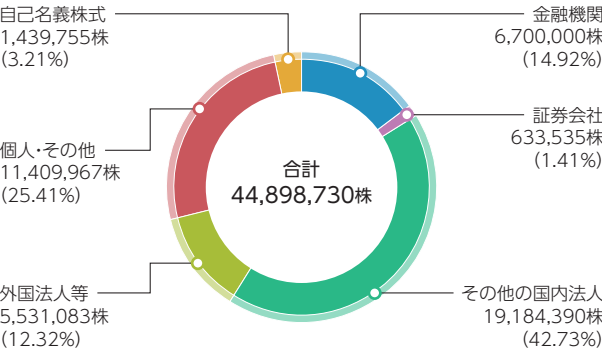
科 目	前 期	当 期
	2021年4月 1 日から 2022年3月31日まで	2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで
売上高	292,719	355,715
売上原価	266,820	321,441
売上総利益	25,899	34,274
販売費及び一般管理費	17,080	19,455
営業利益	8,819	14,819
営業外収益	3,075	3,103
営業外費用	1,344	3,251
経常利益	10,549	14,671
特別利益	120	613
特別損失	588	1,654
税金等調整前当期純利益	10,081	13,629
法人税、住民税及び事業税	1,398	2,062
法人税等調整額	949	27
当期純利益	7,734	11,540
非支配株主に帰属する当期純利益	1,411	△1,567
親会社株主に帰属する当期純利益	6,322	13,108

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,300,000株	
発行済株式総数	44,898,730株	
株主数	22,484名	
大株主		
株主名	持株数	持株比率 ^{※1} _{※2}
日本製鉄株式会社	11,592,932 株	26.68 %
高島 秀一郎	4,347,460	10.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,274,700	5.23
高島 成光	2,233,000	5.14
三井物産株式会社	1,470,000	3.38
合同製鐵株式会社	1,347,000	3.10
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター株式会社退職給付信託口)	1,308,900	3.01
エア・ウォーター株式会社	1,291,500	2.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	851,500	1.96
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	843,882	1.94

※1 持株比率は、小数第3位以下を四捨五入して表示しています。
※2 持株比率は、自己株式（1,439,755株）を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況 (2023年3月31日現在)



会社概要 (2023年3月31日現在)

商 号	共英製鋼株式会社 (KYOEI STEEL LTD.)
設 立	1947（昭和22）年8月21日
資 本 金	185億16百万円
従業員数	3,972名（連結：正社員）
主な事業	(1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売 (2) 一般・産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・ 処分業および自動車リサイクル事業ならび に廃棄物再生資源化事業 (3) 鉄筋・ネジ鉄筋加工と組立工事
関係会社	関東スチール(株) 共英産業(株) (株)共英メソナ 共英リサイクル(株) 共英加工販売(株) (株)吉年 ビナ・キョウエイ・スチール社 キョウエイ・スチール・ベトナム社 ベトナム・イタリア・スチール社 チー・バイ・インターナショナル・ポート社 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社 ビントン・スチール社 アルタ・スチール社 中山鋼業(株) 他

役員 (2023年6月27日現在)

代表取締役会長	高島 秀一郎	上 席 執 行 役 員	白石 愛明
代表取締役社長	廣富 靖以	上 席 執 行 役 員	橋本 公宣
取締役・副社長執行役員	坂本 尚吾	上 席 執 行 役 員	松本 哲哉
取締役・常務執行役員	国丸 洋	上 席 執 行 役 員	西村 周
取締役・常務執行役員	北田 正宏	上 席 執 行 役 員	林 進
取締役・常務執行役員	川井 健司	上 席 執 行 役 員	岩佐 博之
取締役・上席執行役員	横山 政美	執 行 役 員	中谷 進亮
取 締 役（社 外）	山尾 哲也	執 行 役 員	宮村 明央
取 締 役（社 外）	川邊 辰也	執 行 役 員	米村 泰宏
取 締 役（社 外）	山本 竹彦	執 行 役 員	藤岡 進一
取 締 役（社 外）	船戸 貴美子	執 行 役 員	上道 雅丈
常 勤 監 査 役	前田 豊治	執 行 役 員	沢村 真人
監 査 役	市原 修二	執 行 役 員	増田 晶紀
監 査 役（社 外）	介川 康弘	執 行 役 員	丸山 静一
監 査 役（社 外）	宗岡 徹	執 行 役 員	大北 剛
		顧問・フアウンダー 名誉会長	高島 成光

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	3月31日（その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。）
期末配当	3月31日
中間配当を行う場合	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	5440

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株主優待制度について

当社は、長期にわたり当社株式を保有いただいている株主の皆様のご支援に感謝するとともに、今後もより多くの方々の中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を設けております。
なお、2024年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録されている株主様より、「継続保有期間1年」の認定条件を変更し、毎年3月31日を基準日として、当社株主名簿に、同一株主番号で3回以上連続して100株以上の保有株式数が記載された株主様を対象とします。
保有株式数および継続保有期間に応じ、以下の優待品をお贈りいたします。

優待品／QUOカード

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上1,000株未満	1,000円分	2,000円分
1,000株以上	2,000円分	3,000円分

共英製鋼株式会社

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階
TEL 06 (6346) 5221 (代表) URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス

②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 5440

…… 以下の方法でもアンケートにアクセスできます ……



検索窓から いいかぶ

検索



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」「本文」は無記入。
アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（QUOカードPay 500円）を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

IRメール配信 サービス 実施しています。



最新のIRニュースや適時開示情報等を、
ご登録のメールアドレスにお送りいたします。
以下のURLよりご登録手続きください。

<https://www.kyoeisteel.co.jp/ja/ir/mail.html>

